

部局目標 [2020年度]

局名 札幌拠点放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針
1	「情報のセーフティネット」となって命と暮らしを守ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇道内7局一体のネットワーク体制の強化</li> <li>◇地域に切実な情報の優先発信</li> <li>◇災害時にあらゆる手段で情報を届け切る</li> <li>◇COMPASSの導入による安定送出・電波確保の実施</li> <li>◇大規模災害訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化 ✓</li> <li>多様な地域社会への貢献 ✓</li> <li>未来へのチャレンジ</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求</li> </ul>
2	「情報のコンビニ」となって拠り所となる確かで便利な情報を届けます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域の課題を考える拠り所となる情報を多角的に発信する</li> <li>◇放送とNEWSWEBとSNSを有機的に結んで利便性を高める</li> <li>◇北海道と国際社会がつながる情報発信を強化する</li> <li>◇東京オリパラを北海道から盛り上げる</li> <li>◇610トライアルで親しまれるニュースを実現する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化 ✓</li> <li>多様な地域社会への貢献 ✓</li> <li>未来へのチャレンジ ✓</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求</li> </ul>
3	「北海道の豊かで多様な魅力」を伝える番組を制作します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇身近で話題になる新番組の開発</li> <li>◇北海道とアイヌの歴史と文化を掘り下げる番組制作</li> <li>◇北海道の豊かな自然と食の魅力を発信する番組制作</li> <li>◇北海道を応援するスポーツ番組の充実</li> <li>◇4K8Kで北海道の魅力を世界に伝える番組制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化 ✓</li> <li>多様な地域社会への貢献 ✓</li> <li>未来へのチャレンジ ✓</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求</li> </ul>
4	ローカルパートナーに普段使いされるオープンなメディアになります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇放送とネットとイベントが融合するオープンジャーナリズムの推進</li> <li>◇ローカルパートナーと連携して地域のハブとなる</li> <li>◇地元民放、新聞社、FM局、CATV等と連携強化する</li> <li>◇地域社会との様々なタッチポイントを創出する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化 ✓</li> <li>多様な地域社会への貢献 ✓</li> <li>未来へのチャレンジ ✓</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進 ✓</li> <li>創造と効率、信頼を追求</li> </ul>
5	「支払率76%」「衛星契約割合50%」を達成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇大都市圏地域の契約収納体制と重点施策の強化</li> <li>◇視聴者の利便性を向上させる外部法人事業者の拡大</li> <li>◇道内7局一体となった受信料理解促進活動</li> <li>◇より一層の理解と納得を得られる訪問活動の展開</li> <li>◇視聴者コミュニケーション活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化</li> <li>多様な地域社会への貢献</li> <li>未来へのチャレンジ</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進 ✓</li> <li>創造と効率、信頼を追求</li> </ul>
6	新札幌拠点放送会館をプラットフォームにして「北海道タスクフォース」を実現します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇新札幌拠点放送会館の開局と安定運用</li> <li>◇タスクフォースの4つの目標の実現</li> <li>①オープンジャーナリズムの推進②高校生を未来のファンにする</li> <li>③WEBファーストへのアップデート④北海道 IS ONEの実現</li> <li>◇道内メディア部体制の完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化 ✓</li> <li>多様な地域社会への貢献 ✓</li> <li>未来へのチャレンジ ✓</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進 ✓</li> <li>創造と効率、信頼を追求 ✓</li> </ul>
7	みずみずしいクリエイティブな職場を実現します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇コンプライアンスを徹底して不祥事を根絶する</li> <li>◇コミュニケーションと縦割り組織の打破で仕事を活性化する</li> <li>◇多様な働き方で個人のパフォーマンスを最大限発揮する</li> <li>◇女性活躍の推進と障害者雇用の促進</li> <li>◇NHKグループ一体となったブロック経営の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化 ✓</li> <li>多様な地域社会への貢献</li> <li>未来へのチャレンジ</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求 ✓</li> </ul>

## 部局目標 [2020年度]

局名	函館放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	命とくらしを守るため、日ごろから防災・減災・緊急報道への備えを続け、道南地域に安心・安全を届けます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇サブステーション訓練と整備を通して、大規模災害時の対応を繰り返し確認、バージョンアップ。</li> <li>◇非常時の連携に向け、地域メディアと協調。共同でイベント・番組・訓練等の取り組みを行う。</li> <li>◇安定送出・電波確保とスムーズなCOMPASS導入・検証する。</li> <li>◇観光都市函館を中心に外国人観光客への情報提供を充実する。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域の課題に向き合い、信頼できる情報をわかりやすく、活用しやすい形で提供するとともに、放送以外の手段も駆使して地域の人たちと議論の場を作り、道南地域に新たな信頼とつながりを育みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇人口減少や水産資源、観光経済等、地域の課題を取材して報道する。</li> <li>◇道南地域のために活躍する人々やコミュニティと連携し、魅力や課題を共有、発信する場を作る。</li> <li>◇世界遺産登録を目指す縄文遺跡群など北東北との交流を念頭に、青函連携の取り組みを推進する。</li> <li>◇視聴者とのつながりを通し受信料の公平負担や制度の理解促進に取り組む。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	コンプライアンスの徹底や働き方改革にともに取り組み、モチベーション高く風通し良く、若手がのびのび育つ、働きやすい職場を作ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇在宅勤務など、多様な働き方を実現し、ワークライフバランスを充実させる。</li> <li>◇コンプライアンスを徹底し、気持ちよく働ける環境を作る。</li> <li>◇専門性を尊重し、丁寧な人材育成を行い、モチベーションを向上させる。</li> <li>◇少人数職場のメリットを生かし、活発なコミュニケーションを維持。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 部局目標 [2020年度]

局名 旭川放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	いざという時、頼りになる放送局として、日頃から災害に備え、地域の「安全・安心」を支えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇災害に備えた体制整備と訓練</li> <li>◇迅速で正確な緊急報道</li> <li>◇放送設備の整備、保守・点検</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	道北の魅力を発信するとともに、地域の課題に正面から向き合い、放送やインターネット、イベントを通じて地域社会に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域の“いま”を伝えるニュース</li> <li>◇地域の課題を掘り下げ、対策を探る番組</li> <li>◇インターネットの活用も含めた地域を応援する多様なサービス</li> <li>◇豊かな暮らしに資するイベント</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	働き方改革、業務改革を一層進め、コンプライアンスを徹底し、創造的で活力ある職場を実現することで、地域サービスの充実につなげます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ワーク・ライフ・バランスに資する働き方改革</li> <li>◇リスクマネジメントの着実な実行と、業務の点検・見直し</li> <li>◇風通しのよい職場環境の構築</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
4	北海道ブロック「支払率76%」「衛星契約割合50%」の達成を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇受信料の理解促進活動の実施</li> <li>◇放送やインターネット、イベントと連携した営業活動の展開</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	

## 部局目標 [2020年度]

局名 帯広放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	「情報のセーフティネット」となって命と暮らしを守ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇道内7局一体のネットワーク体制の強化</li> <li>◇大規模災害を想定した緊急報道訓練を実施</li> <li>◇局内防災訓練を実施</li> <li>◇被災者に役立つ情報の提供</li> <li>◇COMPASSの導入による安定送出、放送事故”ゼロ”継続</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	「情報のコンビニ」となって拠り所となる確かで便利な情報を届けます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇オープンジャーナリズムの手法を取り入れたローカルニュース企画を充実させ、効果的かつ効率的に地域が抱える課題の解決策を提供</li> <li>◇音声波による地元情報発信を強化</li> <li>◇4K8K、NHKプラスの普及促進</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	ローカルパートナーに普段使われるオープンなメディアになります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇新設する「メディア部」において、放送・イベント・ネット展開を連動させた新たな視聴者コミュニケーション活動を開発</li> <li>◇「なつぞら」のレガシーを地域に根付かせ、NHKのプレゼンスの向上を図る</li> <li>◇地元の新聞社・FM局・CATV、公共事業体との連携を強化し、ヒトモノカネをかけることなく地域の防災・減災力向上に貢献</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	みずみずしいクリエイティブな職場を実現します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇コンプライアンスを徹底して不祥事を根絶する</li> <li>◇放送部と企画編成部を融合させた「メディア部」を立ち上げ、縦割り組織を打破し地域局の新しい業務体制を構築</li> <li>◇多様な働き方で個人のパフォーマンスを最大限発揮する</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

# 部局目標 [2020年度]

局名	釧路放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	千島海溝の巨大地震・津波から“いのちを守る”ための情報発信を強化します。行政や住民、各種団体等との連携を強化し、オープンジャーナリズム等、地域に暮らす方々の意見を放送・サービスに取り入れる手法を用い、災害を“自分ごと”と捉え、いのちを守る行動を促す取り組みを行います。また、選挙報道、暴風雪や火山災害、事件事故など緊急報道でも的確な情報発信を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇大規模災害対応力の強化</li> <li>◇放送継続・電波確保のための設備・機能の強化・充実</li> <li>◇地域の防災・減災力を高める情報の継続発信</li> <li>◇”いのちを守る”拠点として開かれた放送会館を実現</li> <li>◇地域の声をくみ取る取材・発信方法の開発</li> <li>◇行政・住民・各種団体等との連携強化</li> <li>◇コミュニティFM局など地域のメディアとの有機的な連携</li> <li>◇隣接する帯広局・北見局との連携強化</li> <li>◇選挙および緊急報道への迅速・的確な対応</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	北方領土問題の行方や共同経済活動の動きを丹念に伝えます。また、サンマ・サケ漁の記録的な不漁が続く、大きな打撃を受けている水産業や、酪農、製紙、観光など、地域産業の課題を深く取材し、多角的な視点で伝え、地域とともに解決策を探ります。さらに民族共生象徴空間「ウポポイ」オープンを契機に、釧路・根室地方のアイヌの歴史や文化を広く紹介します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇北方領土問題に関わる的確な報道</li> <li>◇高齢化する元島民など地域の課題を発信</li> <li>◇深刻な不漁に悩む漁業など地域産業の課題を発信</li> <li>◇地域振興に取り組む人々をニュース・番組で発信</li> <li>◇域内のアイヌ文化・歴史・課題を積極的に発信</li> <li>◇放送部・企画編成部が連携して地域とともに課題解決策を探る放送・ネット・イベントを連動した取り組みを実施</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	知床や釧路湿原などの雄大な自然を記録し、全国・世界へ発信します。アイスホッケーなど地域に根ざしたスポーツや、地域を元気にする取り組みを放送で伝えるとともに、イベントやインターネットでの情報発信により視聴者とのつながりを深め、地域の活性化に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇知床世界自然遺産15年の節目に、道東の大自然や食の魅力を道内はもちろん全国・世界に発信</li> <li>◇8K4Kコンテンツへの積極的な取り組みを推進</li> <li>◇アイスホッケー・クレインズに関連した情報発信</li> <li>◇コミュニティFM局など地域のメディアとの有機的な連携</li> <li>◇放送部・企画編成部が連携して地域を元気にする放送・ネット・イベントを連動した取り組みを複数回実施</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
4	公共メディア時代に相応しい働き方を追求するために、デジタルを活用し、効率性を重視した施策を推進します。また、職場の風通しを良くし、職員・スタッフ等にとって働きやすい環境を整備するとともに、コンプライアンス推進を徹底します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇各種ツールを活用した効率的な働き方を推進</li> <li>◇恒常的に業務を見直し、やりがいのある業務にシフト</li> <li>◇拠点局と連携して業務のより良いあり方を模索</li> <li>◇「1ON1」等を参考に良好な職場関係を構築</li> <li>◇職場のコミュニケーションや交流を活発に行う</li> <li>◇適切な勤務管理・備品等管理等の徹底</li> <li>◇コンプライアンス・ハラスメント等の適宜適切な研修の実施</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名 北見放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針
1	「情報のセーフティネット」となって「命と暮らし」を守ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇災害時にあらゆる手段で必要な情報を届けきる</li> <li>◇災害に備えた訓練・研修等を実施し専門スキルの習熟を図る</li> <li>◇ふだんから防災や減災をテーマにした情報発信を行う</li> <li>◇「地域防災のハブ」として地域の関係機関と連携・協力を図る</li> <li>◇災害に備えた放送設備の強靱化と体制強化を図る</li> <li>◇新運行装置の導入に伴う安定送出や電源確保の万全な実施</li> <li>◇災害時の道内各局との連携強化や一体運用をさらに進める</li> <li>◇災害時の会館機能維持と業務継続に向けた課題の解決を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化 <input checked="" type="checkbox"/></li> <li>多様な地域社会への貢献 <input checked="" type="checkbox"/></li> <li>未来へのチャレンジ</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求 <input checked="" type="checkbox"/></li> </ul>
2	オホーツク地域の豊かで多様な魅力を発信し、地域が抱える課題にきちんと向き合います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域の魅力や課題の発信を通じて地域活性化や地域振興に貢献</li> <li>◇人口減少や少子高齢化など地域の課題に関わる情報を多角的に発信</li> <li>◇これまで蓄積した取材成果を番組として提案し道内や全国へ発信</li> <li>◇知床の世界自然遺産登録15年をテーマにした放送サービス展開</li> <li>◇東京オリパラほか、カーリングなどの地域スポーツを後押しする</li> <li>◇新鮮で魅力的なデジタルコンテンツの開発や発信に挑戦</li> <li>◇調査報道やオープン・ジャーナリズムにチャレンジ</li> <li>◇視聴者との双方向性を意識した情報発信のあり方を探る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化 <input checked="" type="checkbox"/></li> <li>多様な地域社会への貢献 <input checked="" type="checkbox"/></li> <li>未来へのチャレンジ <input checked="" type="checkbox"/></li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求 <input checked="" type="checkbox"/></li> </ul>
3	「公共メディア」への進化の歩みを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇視聴者の身近で役に立つ「地域のハブ」をめざす</li> <li>◇「地域のハブ」としてローカルパートナーとの連携を図る</li> <li>◇放送・ネット・イベントの融合をめざす</li> <li>◇放送やコンテンツの価値を高めることで視聴者の信頼を獲得する</li> <li>◇「北海道タスクフォース」の実現に向けて積極的に関与</li> <li>◇北海道北営業センターと連携、効果的な営業施策を支援</li> <li>◇事務管理系の業務を「視聴者コミュニケーション活動」にシフト</li> <li>◇放送会館の公開スペースのありようや活用方法を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化 <input checked="" type="checkbox"/></li> <li>多様な地域社会への貢献</li> <li>未来へのチャレンジ <input checked="" type="checkbox"/></li> <li>視聴者理解・公平負担を推進 <input checked="" type="checkbox"/></li> <li>創造と効率、信頼を追求 <input checked="" type="checkbox"/></li> </ul>
4	みずみずしく創造的な職場を実現します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇コンプライアンスを徹底して不祥事を起こさない</li> <li>◇ハラスメントの加害者や被害者を出さない</li> <li>◇若手の人材育成に努めることで「やる気の総和の極大化」を図る</li> <li>◇失敗を恐れず、何事にも果敢にチャレンジする</li> <li>◇少人数職場の良さを生かし職種や部署の壁を越えてコラボを実現</li> <li>◇既存業務や業務フローの抜本的な見直し</li> <li>◇無駄の少ない効果的かつ効率的な業務運営への模索や提言</li> <li>◇地域放送局の将来に向けた持続可能な業務体制の構築と検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化 <input checked="" type="checkbox"/></li> <li>多様な地域社会への貢献</li> <li>未来へのチャレンジ</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求 <input checked="" type="checkbox"/></li> </ul>

# 部局目標 [2020年度]

局名	室蘭放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の安全・安心を守るため、防災・減災報道に全力で取り組むとともに、感染症などへの対応にも万全を期し、より信頼される放送局となるよう、様々な地域サービスに力を尽くします。	◇北海道胆振東部地震など自然災害を念頭に置いた防災・減災報道の充実を図る。 ◇新型コロナウイルスなど感染症に対する的確な報道と危機管理対応の強化を進める。 ◇イベントや公開番組、会館公開などを通して視聴者との関係を強化する。 ◇放送の安定送出に万全を期し、視聴者からの信頼の向上を図る。 ◇地域放送やイベントなどを通し受信料制度への理解を促進する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	視聴者の多様なニーズに応えるため、局内全体で放送とインターネット、イベントなどを連動させた取り組みを積極的に展開します。	◇放送部と企画編成部が一体となって新たに発足する「メディア部」を軸に、放送とインターネット、イベントの連動を積極的に進め、様々な視聴者層に幅広くアプローチする。 ◇デジタルネイティブと呼ばれる若い世代をターゲットにした取り組みを強化する。 ◇アイヌ文化の発信拠点「ウポポイ」の開設を契機に、アイヌ民族をテーマにした放送やイベントなどの展開を進める。 ◇人口減少など地域の課題を様々な媒体で取り上げ、解決に向けた議論につなげる	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	働き方改革の推進とコンプライアンスの徹底をはかり、活力ある職場環境を作り上げていきます。	◇数字だけではなく、質の面を意識した働き方改革を推進する。 ◇視聴者の視線を重視したコンプライアンスの徹底を進める。 ◇コミュニケーションを深め、活力ある職場環境を構築する。 ◇北海道内の各放送局や本部との連携を強化し、相互に補完しながら、職員個々のスキル向上を図る。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓